



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 東プレ

上場取引所 東

コード番号 5975

URL <http://www.topre.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 露木 好則

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	82,458	19.4	10,054	56.8	12,214	65.2	9,660	136.4
25年3月期第3四半期	69,034	—	6,410	—	7,392	—	4,086	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,883百万円 (238.4%) 25年3月期第3四半期 3,806百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	192.90	—
25年3月期第3四半期	81.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	131,992	87,854	62.5	1,648.04
25年3月期	114,278	75,826	61.9	1,412.77

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 82,533百万円 25年3月期 70,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	21.3	13,000	60.9	15,000	45.6	11,000	88.0	219.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月31日に公表の業績予想値を修正いたしましたのでお知らせいたします。
 なお、詳細につきましては四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」、本日別途公表いたしました「通期業績予想の修正について」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	54,021,824 株	25年3月期	54,021,824 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,942,212 株	25年3月期	3,936,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	50,083,222 株	25年3月期3Q	50,088,741 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内におきましては、円高が是正され、株高が進んだことから、アベノミクスによる景況の回復が感じられるようになり、さらなる「景気の好循環」への期待が高まりつつあります。また、平成26年4月からの消費増税を前にした駆け込み需要が本格化し始めた一方、その後の反動が懸念されるなど、不安要素も残されています。

海外におきましては、米国経済は、懸念材料はあるものの、引き続き自動車を中心に好調を維持しております。中国では、前年の日本製品への不買運動による影響は以前の水準へと戻り、売上げが回復しました。また、経済成長率には鈍化がみられるものの、依然高い水準を維持しており、今後も大きな市場として期待されます。世界経済全体としては、米国の金融緩和縮小政策の影響や、タイなど一部の国における政情不安がみられますが、新興国の底堅い経済成長にも支えられ、不透明ながらも回復への期待が高まっております。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高824億5千8百万円、前年同期比134億2千4百万円の増収(19.4%増)、営業利益は、主に海外において受注・生産が好調であったことなどから100億5千4百万円、前年同期比36億4千4百万円の増益(56.8%増)となりました。経常利益は、円安による為替差益18億7千万円を含め、122億1千4百万円、前年同期比48億2千2百万円の増益(65.2%増)となりました。四半期純利益は、平成25年6月に移転価格税制に基づく更正処分に係る日米間の相互協議の合意が成立し、特別利益として法人税等還付加算金1億5千4百万円を計上したことに加え、過年度法人税等として16億6千8百万円の戻しがあったことにより、96億6千万円、前年同期比55億7千4百万円の増益(136.4%増)となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきまして、国内の自動車生産・販売は、消費マインドのエコカーへのシフトが加速したことで小型車・軽自動車の需要が増加し、売上は前年同期に対し微減となりました。しかしながら海外におきまして、米国の「Topre America Corporation」の好調、中国の「東普雷(佛山)汽車部件有限公司」の本格稼働により、海外売上が前年同期を大幅に上回ったことから、プレス関連製品事業全体での売上高は520億7千1百万円、前年同期比114億4百万円の増収(28.0%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は、主に海外拠点において、受注の好調に加え、中国新工場の稼働開始を含む新規車種の立ち上がり円滑に進行したことなどにより、80億7千4百万円、前年同期比28億2千6百万円の増益(53.8%増)となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきまして、昨年より続くトラックの更新需要に加え、小型トラックを中心に市場は好調に推移しており、受注・生産ともに前年同期を上回る水準で推移しました。また、冷凍輸送部門においても堅調に推移したことから、定温物流関連事業全体での売上高は247億3千5百万円、前年同期比18億3百万円の増収(7.9%増)、セグメント利益(営業利益)は、受注量増加への対応のため生産性が大きく向上したことなどにより、15億6百万円、前年同期比7億6千2百万円の増益(102.4%増)となりました。

<その他>

空調機器部門におきまして、住宅用換気システムは、住宅着工戸数の回復により受注は増加し、10月以降も堅調に推移しました。産業用送風機についても、景況感の回復にともなう設備投資の増加により受注を伸ばし、前年を上回る水準で推移しました。また、電子機器部門におきまして、タッチパネル関連製品の受注低迷があったものの、キーボード「REALFORCE」が引き続き好調に販売を伸ばしたことにより、その他の事業全体での売上高は56億5千1百万円、前年同期比2億1千7百万円の増収(4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加にともない、4億7千3百万円、前年同期比5千5百万円の増益(13.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことから、697億2千6百万円となりました。

固定資産では、新たな海外拠点となる「東普雷(襄陽)汽車部件有限公司」および「Topre Autoparts Mexico, S. A. de C. V.」への設備投資の進展にともない有形固定資産が増加したこと、保有する株式等の評価額が上昇したことにより投資有価証券が増加したことから、622億6千6百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ177億1千4百万円増加の1,319億9千2百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が増加したことから、333億7千1百万円となりました。

固定負債では、主に繰延税金負債が増加したことから、107億6千7百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ56億8千7百万円増加の441億3千8百万円となりました。

(純資産の部)

利益剰余金の増加、保有する株式等の評価額上昇によるその他有価証券評価差額金の増加、および円安の進行により為替換算調整勘定のマイナス幅が縮小したことから、前連結会計年度末に比べ120億2千8百万円増加の878億5千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期 通期連結業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「通期業績予想の修正について」のとおり、平成25年10月31日公表の予想値を上回る見込みとなりました。

これは、プレス関連製品事業において、国内での売上げは伸び悩みをみせているものの、生産の合理化は実現することができました。海外では、米国自動車市場が好調さを維持し、受注が順調に増加したこと、また中国においても「東普雷(佛山)汽車部件有限公司」において、当初の見通しに対して生産性が良化したことによります。

さらに、定温物流関連事業におきまして、冷凍車の需要が旺盛に推移し、受注・生産ともに堅調に推移するとともに、生産性が大きく向上したことによるものです。

全体としては、円高是正による円安のさらなる進展、平成25年6月20日公表のとおり、移転価格税制に基づく更正処分に対する日米間の相互協議が合意し、法人税等の還付金が約18億円見込まれ、計上したことなどが影響しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,080	19,767
受取手形及び売掛金	20,658	24,851
有価証券	6,243	3,834
金銭債権信託受益権	4,600	5,000
たな卸資産	9,110	11,470
その他	4,687	4,803
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	60,380	69,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,804	12,441
機械装置及び運搬具(純額)	13,445	16,195
その他(純額)	14,647	15,999
有形固定資産合計	39,897	44,635
無形固定資産		
投資その他の資産	965	1,109
投資有価証券	11,978	15,505
その他	1,077	1,038
貸倒引当金	20	22
投資その他の資産合計	13,035	16,521
固定資産合計	53,898	62,266
資産合計	114,278	131,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,553	22,117
短期借入金	123	-
1年内返済予定の長期借入金	895	1,647
未払法人税等	2,337	1,734
賞与引当金	1,287	425
役員賞与引当金	84	48
製品保証引当金	198	199
損害補償損失引当金	-	178
その他	5,586	7,018
流動負債合計	28,067	33,371
固定負債		
長期借入金	5,885	5,379
繰延税金負債	3,456	4,455
P C B 処理引当金	38	38
その他	1,003	895
固定負債合計	10,384	10,767
負債合計	38,451	44,138

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,840	4,840
利益剰余金	61,507	70,369
自己株式	2,468	2,475
株主資本合計	69,490	78,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,890	4,555
為替換算調整勘定	1,621	368
その他の包括利益累計額合計	1,268	4,187
少数株主持分	5,067	5,320
純資産合計	75,826	87,854
負債純資産合計	114,278	131,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	69,034	82,458
売上原価	55,928	65,222
売上総利益	13,106	17,236
販売費及び一般管理費	6,695	7,181
営業利益	6,410	10,054
営業外収益		
受取利息	69	51
受取配当金	181	221
固定資産賃貸料	73	69
為替差益	517	1,870
その他	188	305
営業外収益合計	1,031	2,518
営業外費用		
支払利息	28	133
固定資産賃貸費用	12	12
損害補償損失引当金繰入額	-	183
その他	8	28
営業外費用合計	49	358
経常利益	7,392	12,214
特別利益		
固定資産売却益	30	51
投資有価証券売却益	5	194
法人税等還付加算金	-	154
その他	6	5
特別利益合計	43	405
特別損失		
固定資産除却損	89	44
減損損失	0	0
その他	65	13
特別損失合計	155	58
税金等調整前四半期純利益	7,280	12,561
法人税、住民税及び事業税	2,335	3,367
過年度法人税等	-	1,668
法人税等調整額	683	879
法人税等合計	3,018	2,577
少数株主損益調整前四半期純利益	4,261	9,984
少数株主利益	175	323
四半期純利益	4,086	9,660

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,261	9,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1,646
為替換算調整勘定	453	1,253
その他の包括利益合計	454	2,899
四半期包括利益	3,806	12,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,620	12,579
少数株主に係る四半期包括利益	186	303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,667	22,932	63,600	5,434	69,034	-	69,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	202	5	208	419	628	628	-
計	40,870	22,938	63,808	5,853	69,662	628	69,034
セグメント利益	5,248	744	5,992	418	6,410	-	6,410

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	52,071	24,735	76,807	5,651	82,458	-	82,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	201	4	206	397	603	603	-
計	52,273	24,739	77,013	6,049	83,062	603	82,458
セグメント利益	8,074	1,506	9,581	473	10,054	-	10,054

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。